



第102期 中間報告書
2021年4月1日～2021年9月30日

夢から感動へーハートテクノロジー



(証券コード 1890)

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
(連絡先) 東京都府中市日鋼町1-1
電話 0120-232-711 (通話料無料)
(返還先) 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

本報告書は2021年9月末時点での株主の皆様にお送りしております。

開く

濡れている場合は乾かしてから
はがしてください

★ 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第102期第2四半期の概況をご報告申し上げます。

当社グループは、中期経営計画“Being a resilient company”の2年目となる当事業年度をレジリエント企業への変貌を加速させる年と位置付けております。カーボンニュートラルへの対応などの環境変化を認識し、洋上風力発電施設の建設事業といった将来に向けての新たな成長戦略を推進し、基幹3事業である国内土木、国内建築、海外建設各事業における重点施策を力強く実行するとともに、グループ力を最大限に発揮し、計画の目標達成に向けて取り組んでおります。

〔国内土木事業〕

当社の基盤である海上工事の安定的シェア確保及び成長ドライバーである洋上風力関連事業の強化に向けた取り組みのほか、民間事業及び陸上工事の受注拡大に努めております。

〔国内建築事業〕

営業利益を安定的に確保できるよう、組織営業力の強化や強いコスト競争力・調達力による収益力の向上及びBIM活用による生産性の向上に努めているほか、収益構造変革に向けた対策にも積極的に取り組んでおります。

〔海外建設事業〕

地域に根差した事業展開を継続し、取り組み分野の拡大、コスト競争力強化、リスクコントロール、人材育成により、各拠点が補完しあえる安定した事業展開の実現に向けて基盤強化に努めております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、738億95百万円となり、営業利益は30億87百万円、経常利益は30億26百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億61百万円となりました。

中期経営計画の達成に向け、引き続き役員・社員が一丸となって努力してまいりますので、皆様からのご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長

武澤 恭司

★ TOYOトピックス

着床式洋上風力発電施設への適用に向け サクシオンバケット基礎の実証試験を実施

今夏、当社は日立造船株式会社様（大阪府大阪市、取締役社長兼COO：三野 禎男）と、着床式洋上風力発電施設への適用を目指すサクシオンバケット基礎の施工技術実証試験を実海域で実施しました。

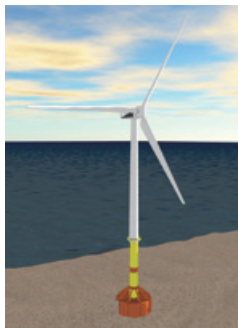
サクシオンバケットは、お椀を伏せたような形状で、バケット内を排水することで地中に貫入し、また内部に注水することで撤去することができます。主な特長としては、設置時に大型の施工機械が不要であること、全撤去が可能であること、貫入、撤去作業において大きな騒音、振動が発生しないこと、基礎の根入れ長がモノパイル方式に比べて短いので、岩盤層が浅い場所に存在する海域が多い日本に適していることなどが挙げられます。

今回の試験では撤去も含めた検証を行い、施工中の振動・騒音・汚濁について周辺影響が非常に少ないことが確認できました。今後技術検証を経て、2026年頃に最も低コストの着床式基礎技術として実用化を目指します。

当社はこれからもクリーンエネルギーの普及ならびにコスト削減に資する技術開発により、低炭素・循環型社会の実現に向けて貢献してまいります。



実海域における実証試験の状況



サクシオンバケットのイメージ

★ TOYOトピックス

フィリピンの大型河川改修工事を連続受注

当社は、フィリピン共和国公共事業道路省が発注するパシグ・マリキナ川河川改修事業（フェーズⅣ）のうち、パッケージ2を当社単独で、パッケージ3を当社が幹事会社を務める共同企業体（JV）で受注しました。これまで同事業のフェーズⅡ、フェーズⅢを施工しておりますので、3フェーズ連続の受注であり、今回の受注金額合計は約269億円となります。

今回受注したフェーズⅣは上流部の整備であり、下流部と同様、氾濫防止のための高上げを含む護岸の整備及び流下能力を向上させるための河道浚渫を行うことにより、周辺地区の洪水被害を低減させる効果があり、地域の経済発展に大きく寄与することが期待されています。



施工実績及び今回の現場位置



環境改善により周辺整備が進むマニラ市内

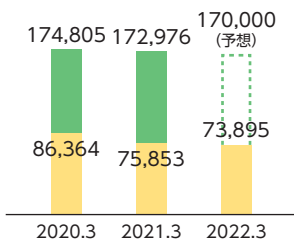
★ 2022年3月期第2四半期の連結業績概況

経営成績

当社グループの経営成績の状況は以下のとおりです。

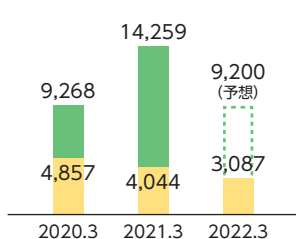
売上高 **73,895**百万円
(前年同期比 2.6%減)

■ 通期 ■ 第2四半期
(単位：百万円)



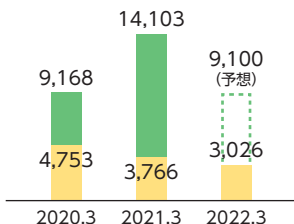
営業利益 **3,087**百万円
(前年同期比 23.7%減)

■ 通期 ■ 第2四半期
(単位：百万円)



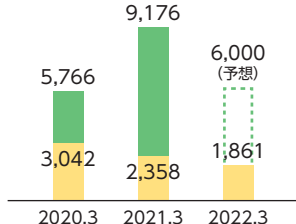
経常利益 **3,026**百万円
(前年同期比 19.6%減)

■ 通期 ■ 第2四半期
(単位：百万円)

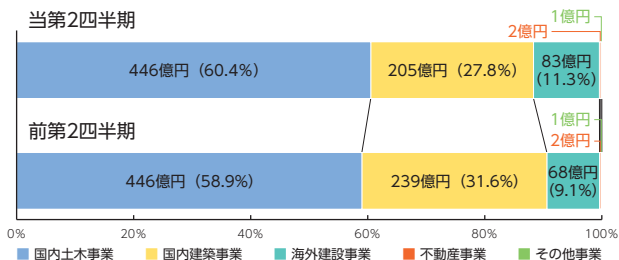


親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益 **1,861**百万円
(前年同期比 21.1%減)

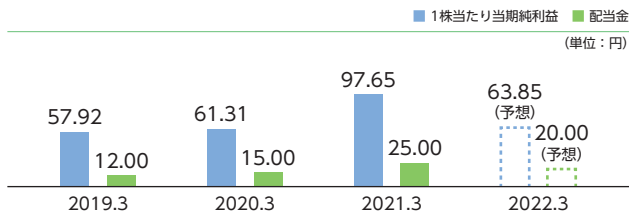
■ 通期 ■ 第2四半期
(単位：百万円)



セグメント別売上高



1株当たり当期純利益、年間配当金推移



★ 会社概要 (2021年9月30日現在)

社名	東洋建設株式会社
英文名	TOYO CONSTRUCTION CO., LTD.
創立	1929年7月3日
資本金	14,049,367,174円
営業種目	土木建築工事の請負、建設コンサルタント、土地造成、地域・都市・海洋・資源エネルギー開発及び環境整備、公共施設の企画、管理運営、エネルギー供給に関する事業、不動産業、その他関連事業
従業員数	1,676名 (連結)